

にほんじん と トルコじん
日本人とトルコ人



(Drawn by Akino SASAKI)

ふたり はじ あ ねんだい
二人が初めて会ったのは、1980年代、ドイツのケルン（ドイツの町の名前）で
した。この時は、まだドイツが東西に分かれていました。にほんじん と トルコじん
日本人もトルコ人も 30
だいこうはん だんせい けっこん こ かぞく くに
代後半の男性で、結婚して子どももいました。家族は、それぞれの国にいました。
にほんじん べんきょう じん けいざいがく べんきょう
日本人はハンドボールの勉強のために、トルコ人は経済学の勉強のために、ド
イツへ行きました。ふたり りゅうがくせい む りょう おな へや す
二人は、留学生向けの寮で、同じ部屋に住んでいました。
ちが だいがく べんきょう へいじつ よる しゅうまつ ふたり へや
違う大学で勉強していたので、平日の夜や週末だけ、二人は部屋でゆっくり

いっしょ じかん す 一緒に時間を過ごすことができました。へや かぞく しごと たが くに 部屋で家族、仕事、お互いの国、ドイツのことなど、はな ふたり じぶん べんきょう 話しました。二人は、自分の勉強のためにドイツに行ったので、たが くに きょうみ お互いの国について、あまり興味がありませんでした。そのため、たが こと お互いの言葉 おぼ ぶんか し を覚えたり、文化を知ろうとしたりしませんでした。ふたり かいわ すべ 二人の会話は全てドイツ ご 語でした。

ねんご にほんじん さき りゅうがく お にほん かえ じん ねん 2年後、日本人が先に留学を終えて、日本へ帰りました。トルコ人は、6年 ご くに かえ 後に国へ帰りました。ふたり きこく ねんだいぜんはん 二人が帰国した 1990年代前半は、まだパソコンやインターネットは いっぼんてき 一般的ではありませんでした。ふたり おも だ てがみ 二人はふと思い出したときだけ、手紙のやり取り と をしました。すうねん かい てがみ 数年に 1回の手紙なので、ただ、「元気?」、「仕事はどう?」というあいさつ げんき しごと だけでした。

ねんだいこうはん にほんじん こ じん こ りゅうがく 1990年代後半に、日本人の子どもとトルコ人の子どもがドイツへ留学 にほんじん むすこ ご べんきょう じん むすめ じどうしゃ べんきょう しました。日本人の息子はドイツ語の勉強のため、トルコ人の娘は自動車の勉強のため りゅうがく じき ちが ふたり あ でした。しかし、留学した時期が違っていたので、二人はドイツで会う にほんじん じん たが こ りゅうがく ことはありませんでした。日本人とトルコ人は、お互いの子どもがドイツへ留学 てがみ つた したことを手紙で伝えました。

ねんだい ふたり たが くに あ ねん にほん かんこく 2000年代に、二人はお互いの国で会いました。2002年に、日本と韓国で、サッカーのワールドカップが ひら 開かれました。そのとき、トルコ人は家族と一緒に日本 い にほんじん いえ とま りょこう にほん し へ行きました。日本人の家に泊って、旅行をして、日本とトルコのサッカーの試 あい み ねん にほんじん かぞく いっしょ い 合を見ました。2006年には、日本人が家族と一緒にトルコへ行きました。トルコ じん いえ とま りょうり た りょこう 人の家に泊って、トルコ料理を食べて、旅行をしました。

しかし、それから二人が会うことはありませんでした。パソコンやスマートフォンをみんなが持つようになって、二人の連絡は数年に1回だけでした。二人は、ただドイツで会った日本人とトルコ人でした。

日本人の息子は、父親が亡くなってから、父親が使っていたパソコンを開きました。その時、ドイツ語のメールを見つけました。トルコ人からのメールで、病気で自分の命が短いことを伝えていました。日本人の息子は、トルコ旅行のお礼を言って、父親が亡くなったことを知らせました。すると、トルコ人の娘からメールが届いて、彼女の父親が亡くなったことを知りました。日本旅行がとても楽しかったからまた日本へ行きたい、とドイツ語で書いてありました。

(1136 字)

(2021.4 Written by Wakiko FUTAKUCHI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.